

第1回協議会の振り返り

《岡田委員長の講話から》

テーマ「地域における社会教育の推進について」

1. 文部科学省の社会教育政策

地域における社会教育の意義と果たすべき役割

「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくり

→全体の生涯学習を進める、学校と地域の連携に特化する

2. 地域学校協働における地域住民の立ち位置

地域住民の学びを学校運営を通じた地域づくりへ

→学校だけではできない部分を地域の人々の力を借りてやる

地域ぐるみで育てる、地域に愛着をもつ

第1回協議会の振り返り

《委員の意見》

- ・担い手として**大人の学びを続ける**ことが大事
- ・若い人が学ぶ機会・情報が届いていない
- ・**自分には関係ないと感じる若い人**がいる
- ・学校支援から、**地域と学校が協働してやる**
- ・協働という言葉は、まだまだ浸透していない
- ・市として、どこに何をしていけばいいのかという議論
- ・**後継者づくり**に貢献しなければいけない
- ・**地域学校協働**という概念が、これからの**まちづくり**の手段として**トレンド**
- ・**地域づくりの有効な手段**として、地域学校協働があるのではないか
- ・**巣立っていく社会が、どんな社会どんな地域であつたらいいか**を話し合う
- ・**ビジョンをみんなで共有し、抱えている課題を先送りしない、みんなで解決していく**